

国立大学・高専等施設の整備

令和7年度予算額（案）
（前年度予算額

364億円
363億円）



文部科学省

令和6年度補正予算額

624億円

概要

- ◆「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3年3月文部科学大臣決定）」に基づき、施設の戦略的リノベーションによる老朽改善、DXを含む教育研究の高度化・多様化・グローバル化等の機能強化、施設の長寿命化、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化を促進し、キャンパスの質及び魅力の向上を図る。
- ◆ソフト・ハード一体となった教育研究環境の整備充実を図り、産学官連携によるキャンパスの共創拠点（イノベーション・コモンズ）化を推進することによって地域の社会課題解決・イノベーション創出や地域防災に貢献する。

事業内容

①耐災害性の強化

耐震対策・防災機能強化、老朽改善、
ライフラインの計画的な更新



落下の危険がある外壁



耐災害性が向上

②イノベーション拠点の強化等

人材育成、先端研究、グローバル化等に貢献する
施設整備、附属病院の再生



イノベーション人材育成のための
教育環境



フレキシブルなオープンラボ

③カーボンニュートラルに向けた取組

ZEB化を推進するための先導モデル事業の実施、
省エネの取組の加速化



創エネルギー設備の整備



高効率空調・全熱交換器の整備

産業界との共創



学生と起業家・地元企業との
交流を促進する共創の場



体育館をリノベーションした
コワーキングスペース、
スタートアップ創出拠点

地方公共団体・地域社会との共創



県や市と連携して地域防災
支援を行う活動拠点



産官学連携による地域
の課題解決の拠点

他の大学・研究機関等との共創



国内外の大学や
企業との連携拠点



研究者間の連携を促進する
最先端研究の拠点



イノベーション・コモンズ（共創拠点）

老朽改善にあわせた機能強化等を行い、キャンパス全体が有機的に
連携し、あらゆる分野・場面・プレイヤーが共創できる拠点